

## 1 本校の学校経営

### (1) 校訓

「 自主 感動 創造 」

### (2) 学校教育目標

「郷土・学校・自分に誇りを持ち、心豊かで、賢く、たくましい生徒の育成」

### (3) 教育理念

成徳達人 ～心を育て、才能を伸ばす～

### (4) めざす生徒像…「自主的に考え、行動する生徒」

- 心豊かで、思いやりのある生徒
- 自ら学習に励む生徒
- 自ら鍛え、健康でたくましい生徒
- 目標に向かって努力を続ける生徒
- 稔南生であることに誇りを持った生徒

### (5) めざす学校像…「活気に満ちた、感動ある学校」

- 立ち止まってさわやかなあいさつ、熱心な無言掃除、大きな声で校歌と返事が自慢の学校
- 生徒、保護者、地域住民から信頼され、地域に貢献できる学校…「地域と連携・協働」
- 美しく、潤いのある学校…「環境は人を作る。その環境は人が作る。」
- 生徒が喜んで登校する学校
- 通いたい・通わせたい・勤めたい学校

### (6) めざす教師像…「21世紀に生きる創造あふれる生徒を育てる教師」

- 豊かな人権感覚を持った教師
- 生徒、保護者、地域住民から信頼される教師
- 研修に励み、確かな指導で生徒の力を伸ばす教師
- 本校の課題を理解し、その解決に向け努力する教師
- 稔南中の職員である自覚と使命を持った教師

### (7) 経営の基本方針

- ア 人権尊重の精神をすべての教育活動の基盤に人権教育を推進し、「自分の大切さとともに他人の大切さも認めることができる」という人権感覚を育成する。
- イ 「知識及び技能」の習得と「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を育成する。
- ウ 「地域の子どもは地域で育てる」という視点に立ち、積極的に情報を発信・収集するとともに、コミュニティ・スクールを設立し、活用することで地域と連携・協働を通じた学校づくりを推進する。

### (8) 実践努力目標

- ア **令和2年度ミッション「稔南プライドを持ち、信頼される生徒・職員」**  
稔南中学校の生徒としてどのような行動を取るべきか、また、稔南中学校の職員としてどのようにあるべきかを考え、稔南プライド（自尊感情）を持ち、他の人に信頼される（自己有用感）生徒・職員をめざす。
- イ 「そろえる（共通理解・共通実践）つづける（継続実践）見届ける（確認・評価）」教育  
学校行事や諸活動において、各担当が各自の分掌や分野で企画・運営していく際は、常にどうすれば稔南中を向上させられるかを意識させ、学校経営を行う。

## 2 本校の課題と課題解決に向けた具体的実践事項

### (1) 基本的な生活態度の育成

#### ア 生徒会を主体とした取組実践による活性化

- ・すくすく稜南会あいさつ運動（立ち止まってあいさつ）及びボランティア活動への参加
- ・生徒集会での生徒会による自主運営と評価（大きな声で校歌斉唱）

#### イ 無言清掃活動の意義を踏まえた指導（教師の率先垂範）

#### ウ 落ち着いた生活の実践（5分前行動、授業始2分前着席、1分前学習の徹底）

### (2) 豊かな心の育成

#### ア 支持的風土のある学校・学級づくり（「人権教育の指導方法等の在り方について」[第3次とりまとめ]」の積極的な活用、稜南中人権宣言の意識化・行動化）

#### イ いじめ防止基本方針に基づいた未然防止、早期発見・早期対応、再発防止の確実な実施

- ・教育相談の計画的実施（気になる生徒の早期発見・早期対応）
- ・きめ細かな記録の蓄積（日常の会話やはなみずきノート等で生徒の言動・行動・友人関係の変化の観察記録）

#### ウ 子どもの居場所づくり推進テーブルの活用と愛の123運動+1の確実な実施

- ・生徒指導委員会の週1回の実施と充実、組織的な実践（副担任、養護教諭、心の教室相談員等との連携、電話連絡、家庭訪問、相談・面談等の実施）
- ・心の教室相談員の活用を核として、関係機関（SCSSW、児童福祉課、子育て支援課）との連携強化

#### エ 「特別の教科 道徳」における考え・議論する道徳の時間の充実（熊本の心・つなぐ・GT・ST[スペシャルティチャー]の活用）

##### <道徳教育における学校の重点目標>

- ①希望と勇気、克己と強い意志
- ②思いやり、感謝
- ③勤労
- ④郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
- ⑤生命の尊さ

#### オ 心を育てる環境づくりの推進

- ・掲示教育の充実に努めるなど校舎内の環境づくりの推進
- ・花壇・プランターの手入れ等による校地の環境づくりの推進

### (3) 確かな学力の育成

#### ア 授業力向上を目指した実践的な校内研修の実施

- ・視点を明確にした1人1回以上の研究授業・授業研究会（ワークショップ型）の実施
- ・「分かる授業」を実現させるための5つのポイントを意識した指導方法の工夫改善

#### イ 学びの意欲付け、家庭学習の習慣化

- ・家庭学習の習慣化を図る指導の徹底、はなみずきノートの活用（家庭学習の手引きの活用や家庭学習時間の設定）
- ・基本的学習態度の徹底（授業中の板書の工夫と生徒のノート指導の徹底）

#### ウ 言語活動の充実

- ・各教科等の目標実現に向けた言語活動の工夫、「考え、表現する場」の設定
- ・「はしわ」表現（はっきりした声で、しっかり考え、わかりやすく伝える）の徹底

エ 熊本県学力調査、全国学力学習状況調査の結果分析による学力向上の検証改善サイクルに基づいた総合的な学力向上対策

・朝自習と放課後の稜南タイムやチャレンジタイムを活用した基礎学力テスト等の組織的計画的な実践

・個に応じた指導(単元別評価問題、課題克服プリント、県学力調査過去問題等の活用)

オ 特別支援教育の充実

・ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業展開の工夫、校内支援委員会の効果的な実施、教室環境の工夫・改善

・特別支援教育の啓発

(4) 健康でたくましい生徒の育成

ア 「食」に関する指導の充実

イ 自ら安全に行動する態度の育成

ウ 自らの健康を管理する態度の育成

エ 自ら運動に親しみ、体力を高める資質や能力の育成

・教科体育及び部活動の充実(体力テスト全国平均以上)

・生涯スポーツの基礎作りをめざした取組の推進

オ 教科体育・部活動・スポーツに親しむ時間の充実

・体育の授業の充実

・部活動の充実

・体ほぐしやスポーツに親しむ時間の充実

(5) 地域と連携・協働した学校づくりの推進

ア コミュニティ・スクールの設立と活用

イ 学校情報の定期的発信(学校だより、スクールメール、HPの運用)

(6) 学校改革の推進

ア 生徒と向き合う時間の確保

・職員会議等の効率化

・行事の反省を生かした効率的な実施

イ わかる授業をめざした取組

・管理職による授業参観と授業参観シートを用いた指導

・ワークショップによる授業研究会の実施

・ICT等の教育機器を活用した授業の実施

・個別指導・個別課題による指導の実施

ウ 取組に対するチェック機能の充実

・学期ごとに学校経営の具現化の進捗状況の評価・確認と改善点の提言

・学校評価・授業評価の実施と改善点の提言

エ 部活動の精選

・土日いずれかは必休、対外試合の精選、毎週水曜日のノー部活デーや学期1回のノー部活ウイーク等

オ 働きやすい環境作り

・長期休業等を利用した備品整理と粗大ゴミ等の処理

・相談しやすい職員組織作り

カ 業務の効率化を推進

・職員室内ネットワークを生かし、校務分掌ごとのファイル保存と活用

キ 学校改革委員会と学校改革会議の開催

- ・学校改革委員会を開催し、学校改革の見直しの計画を企画
- ・学校改革会議において、学校改革の具体的内容確認と実施

(7) 各学期で目指すもの

ア 1学期

『学年に応じた目標の設定と取りかかりの学期』

- ④⑤信頼と愛情に満ちた学級・学年をつくる。
- ④学級目標を設定する。
- ④個人目標を設定する。
- ④家庭や地域住民との信頼関係を高める。
- ④⑤令和元年度の未習事項への対応を行う。

イ 2学期

『改善と発展の学期』

- ④⑤1学期を振り返り、改善を行う。
- ④⑤学習意欲の充実と学力の向上を図る。
- ④家庭や地域住民へ取組の成果を積極的に発信する。

ウ 3学期

『充実の実感と次年度の構想の学期』

- ④進学や進級に向け、志を高くする。
- ④⑤1年間の取組を反省し、更に努力する意欲を高める。
- ④⑤家庭や地域住民への感謝の気持ちを持つ。